

令和 7 年度事業計画及び収支予算

公益社団法人京都モデルフォレスト協会 令和7年度事業計画

<重点方針>

モデルフォレスト運動の拡大・発展を目指して、

- ① モデルフォレスト運動の連携・ネットワークの拡大を推進します。
- ② 次代を担う子どもたちの森づくり体験・学習活動を進めます。
- ③ 緑の募金活動等を通して森林をはじめとする緑の大切さの啓発に努めます。

1 モデルフォレスト運動の連携強化と拡大

「モデルフォレスト運動」の様々な活動や事業により築かれてきた多くの「人と人のつながり」、「地域、企業・団体のつながり」を、さらに「強め」、「活かし」、「広げる」ことにより、モデルフォレスト運動の発展を目指します。

- 京都の豊かな森林と、森を守るモデルフォレスト運動への理解、参画を広げるため、現地体験ツアーの実施など内容も充実させ、モデルフォレスト府民公開講座を開催します。(継続)
- 林野庁の「里山林活性化多面的機能発揮対策」や京都府の「ふるさとの里山林保全活動推進事業」、企業・団体等の寄付を活用して地域が一体となった持続的な森林整備活動を支援します。(継続)
- 企業・団体等の森林づくり活動の向上と、連携・ネットワークを拡大するため、カーボンニュートラルや生物多様性保全、企画・運営などをテーマにした交流会やセミナーを開催するとともに、間伐や放置竹林の整備に取り組む森林ボランティアを養成するため講座や体験会を開催します。(強化)
- 協会情報誌「以森伝心」や協会ホームページ、メールマガジン等を通じ、森林づくり活動等の情報を積極的に発信し、モデルフォレスト運動への府民参加のすそ野の拡大に努めます。(継続)

2 次代を担う子どもたちの森づくり体験・学習の推進

子どもたちが森林や自然環境にふれあい、体験できる機会が少なくなっている中で、森や緑を守り育てることの大切さを学ぶ体験・学習を推進します。

- 子どもたちの森づくり体験・学習を推進するため、企業等の協力により、森づくり体験や学習の支援を実施します。また、子どもたちの体験学習の機会を増やすため、出前講座を充実します。(強化)
- 緑の少年団の活動を支援し、森林や緑を大切にすることを育むとともに、交流会の開催や指導者への支援等、新たな団の結成に向けた取組を進めます。(継続)
- 毎年開催の緑化運動ポスターコンクール等を通じ、緑の大切さを啓発します。(継続)

3 緑の募金活動等を通じた啓発の推進

関係団体や協会会員の協力を得て、緑の募金や森林づくりへの寄付等を拡大する取組を強化し、森林整備、地域緑化、環境教育、森林ボランティア活動等への支援を充実します。

1 モデルフォレスト運動の連携強化と拡大

(1) 府民参加のすそ野の拡大と啓発活動

モデルフォレスト運動に参画する企業、団体、地域、会員等が、運動推進のためのセミナーの開催を通じ、情報交換や交流に取り組み、人や情報のネットワークの構築や活動の強化と拡大を推進します。

モデルフォレスト府民公開講座等の開催

京都モデルフォレスト運動への理解と参画を広げるため、森林・林業、木材利用、森林の役割や魅力などをテーマに、幅広く府民が参加できる公開講座や自然観察ツアーを開催します。

	実施時期（予定）	テーマ（予定）	場 所
①	令和7年5月10日	高層湿原（八丁平）自然観察	京都市左京区
②	令和7年6月13日	林業と木材利用施設	宇治市・城陽市
③	令和7年10月11日	森林と健康（調整中）	南丹市
④	令和7年10月31日	京都大学芦生研究林	南丹市美山町

(2) 府民による身近な森林づくり活動への支援

林野庁「森林・山村多面的機能発揮対策」事業

林野庁の「森林・山村多面的機能発揮対策交付金」は、令和7年度から「里山林活性化による多面的機能発揮対策」として実施されることから、引き続き、交付金管理、活動組織の支援を行う地域協議会として、地域活動団体による森林の保全管理の取組を支援し、モデルフォレスト運動の拡大へ繋げてまいります。

実施時期（予定）	内 容
令和7年3月	活動団体募集
令和7年5月	活動内容審査
令和7年7月	安全作業研修
令和7年10月～	現地指導 など

京都府「ふるさとの里山林保全活動推進事業」

京都府豊かな森を育てる府民税を活用した「ふるさとの里山林保全活動推進事業」を通じ、荒廃した里山林の整備を進め、府民の森林整備活動に対する関心を高め、地域での取組のさらなる拡大に努めます。

実施時期	内 容
令和7年6月20日	第1次要望〆切
令和7年9月19日	第2次要望〆切

森林づくり基金による地域の森林づくりの取組支援

モデルフォレスト運動に参画、賛同する企業等からの寄付金により地域の森林づくり活動を支援するとともに、その実績をPRして企業参加の輪を一層広げます。

実施時期（予定）	内 容
令和7年5月末〆切	要望受付（一般公募）
令和7年6月	審査

（3）企業・団体による森林づくりと交流の推進

企業等による森林づくり活動の誘致

環境貢献の取組に積極的な企業や創立記念を控えた企業などに、京都モデルフォレスト運動の趣旨や取組を積極的に情報発信し、モデルフォレスト運動への参画を誘致します。

森林づくりと環境貢献などをテーマに企業等の交流を推進するセミナー

森林づくりを通じた環境貢献への関心を広め、企業・団体のモデルフォレスト運動への参画を促進するため、木質資源の活用、生物多様性の保全、環境学習、健康づくりなど、多様な活動の情報提供や、CO2 吸収量認証や環境共生サイト登録などを学べるセミナーを開催します。

企業の森「オープンフォレスト」など、活動開始を支援する取組

森林づくり活動への参加を検討している企業・団体を対象に、先進的な取組を実践する企業と交流する「オープンフォレスト」や、活動計画を提案するなど、森林づくり活動の取組開始を支援します。

実施時期（予定）	取 組
令和7年12月	企業交流会 ・取組報告 ・情報交換会 など
令和8年2月	公開セミナー ・基調講演 ・先進事例報告 など
（随時実施）	企業の森オープンフォレスト ・先進事例視察 ・お試し作業体験 など

（4）森林ボランティアの養成、支援

森林整備体験教室等の開催

京都府や市町村、ボランティア団体等の取組との連携を図りながら、間伐等の森林整備体験教室や体験ツアー等を開催することにより、府民の森林の果たす様々な役割についての理解を高めるとともに森林づくり活動への参加の促進を図ります。

森の人材バンクの活用

森林インストラクターなどの有資格者を登録する森の人材バンクを活用し、森林ボランティア団体や学校、企業等の希望に応じて指導者を紹介します。

企業、学校、団体等の要望に応じて、森林づくりへの理解を深めるための環境学習講座等を実施します。

(5) 普及啓発や情報発信

イベント等を通じたモデルフォレスト運動のPR

公開講座やツアーなどの開催に加え、会員企業・団体における様々なイベントやセミナー、交流会などに積極的に参加し、京都のモデルフォレスト運動を幅広くPRします。

紙面、インターネット等による情報発信

ホームページや広報誌「以森伝心」、フェイスブック、メールニュース等を活用し、協会や森林づくり団体等が行う様々な活動をタイムリーに発信してモデルフォレスト運動への府民参加のすそ野の拡大を図ります。

森林吸収量認証制度を活用した普及啓発

森林吸収量の認証機関として、企業等の森林整備活動や森林づくりへの寄付等による取組を森林吸収量認証等により評価・PRし、企業やNPOの参加を促進します。

国際的なネットワークを活用した取組の展開

国際モデルフォレストネットワーク（IMFN）の一員として、5月にカナダで開催予定のモデルフォレスト世界大会に積極的に参加し、各国との交流を深めながら、京都モデルフォレスト運動の魅力と成果を発信していきます。

さらに、アジア事務局を京都に招き、企業参加の森づくり活動をはじめとする特色ある取り組みについて、具体的な事例を共有し、意見交換を活発に行うことで、森づくり活動のさらなる発展を目指します。

(6) 公的森林等の管理支援

洛西散策の森の管理支援

府民の森とのふれあいの場所である「洛西散策の森」（京都市西京区）の巡視業務を京都府から受託し、府民に開かれた森林環境の整備に努めます。

2 次代を担うこどもたちの森づくり体験・学習の推進

森林環境学習等を通じた次代を担う子どもたちの育成

子どもたちが森林や自然環境にふれあい、体験できる機会が少なくなっている中で、森や緑を守り育てることの大切さを学ぶ活動を推進します。

子どもたちへの森林環境学習の提供（出前授業・オンライン講座）

幼・保・小中学校などに出向き、森林の果たす役割や森の大切さをわかりやすく伝える

出前授業や、家庭でも「森のえほんクラブ」やオンライン講座を通じて森への親しみを感
じてもらうための事業を実施します。

また、企業からの寄付により記念植樹や学習資材の提供など取組を充実させて、子ども
たちがより一層楽しく学ぶことができる取組を推進します。

企業等からの寄付による「こども森づくり体験・学習」

企業等からの寄付により「こども森づくり体験・学習」を推進し、間伐などの森林づく
り活動の見学・体験や、森林インストラクターによる森林教室など、子どもたちの森林や
環境への理解を深める活動を推進します。

実施時期	場 所	回数（内容）
令和7年4月～12月	京都市、京丹波町 ほか	8回（森林環境学習、作業体験など）

緑の少年団の活動を支援

府内各地で森林や緑を守り育てる活動に取り組んでいる緑の少年団の活動を支援し、次
代の森づくりや緑化を担う子どもたちの育成に努めます。

「京都山キッズ交流集会」を京都府との共催で10月に府立丹波自然運動公園で開催し、
自然観察や学習体験プログラムなどを通じて、少年団の交流を図ります。

ポスターコンクールを通じた自然を大切に作る心の育成

子どもたちが自然や緑をテーマに絵を描くことを通して、身近な自然に目を向け、環
境への理解を深める機会を提供し、作品づくりや発表の場を通じて、子どもたちの学び
をサポートしていきます。

3 緑の募金活動等を通じた啓発の推進

募金活動を通じて森林をはじめとする緑の重要性を啓発するとともに、緑豊かな森林づく
りや森林とふれあう取組への支援を進めます。

(1) 緑の募金活動

- 各種行事等での募金や、モデルフォレスト運動参画企業や京都府・市町村、関係団
体の協力も得ながら募金活動を進めるとともに、募金を活用した森林の保全、地域緑
化の取組をホームページやパンフレットなどで発信していきます。

また、関係団体と連携したイベントへの出展や街頭活動で普及啓発にも努めます。

	募金強化期間	取組
春期	令和7年3月1日～5月31日	広報活動、街頭募金、職場募金、 企業募金、家庭募金 など
秋期	令和7年9月1日～10月31日	

(2) 緑の募金による事業

緑化推進

ア 学校・地域緑化・森林環境学習推進

次代を担う児童・生徒や地域住民等の森林や緑の大切さへの理解につなげるため、学校緑化やまちなかななどの地域緑化の取組を支援していきます。

イ 緑の少年団等の育成（再掲）

府内各地で森林や緑を守り育てる活動に取り組んでいる緑の少年団の活動を支援し、次代の森づくりや緑化を担う子どもたちの育成に努めます。

「京都山キッズ交流集会」を京都府との共催で10月に府立丹波自然運動公園で開催し、自然観察や学習体験プログラムなどを通じて、少年団の交流を図ります。

地域での取組支援

地域の募金協力団体が、各地域で森林整備や植樹等を通じて緑化思想の普及啓発を図るための経費として、募金実績から交付金を支出するとともに、特色ある取組が各地で実施できるよう募金協力団体間での情報交換や交流を進めます。

森林整備

ボーイスカウトやガールスカウトが行う森林愛護運動に係る資材等の購入、森林整備活動・研修などの取組を推進します。

ポスターコンクールを通じた自然を大切にする心の育成（再掲）

子どもたちが自然や緑をテーマに絵を描くことを通して、身近な自然に目を向け、環境への理解を深める機会を提供し、作品づくりや発表の場を通じて、子どもたちの学びをサポートしていきます。